





『秋たけなわ』  
守屋 陽子 (日本教育新聞社)



『羨望(一人っ子政策の中国で双子は特認?)』  
二村 博三 (東京交通新聞社)



『サンビュルバスの教会』  
工藤 真一 (環境新聞社)



『ビルのリストラ』  
野澤 利治 (建通新聞社中部支社)



『大連の明日』(組写真)  
石井あけみ (日本専門新聞協会)



『キャベツの収穫』  
渡辺 節男 (国際農業社)



『躍動＝水と光と影と』  
池田 勝彦 (日本教育新聞社)



『ダム建設・未来は君たちのために』  
斎藤 直樹 (福島建設工業新聞社)



『川の相貌』(組写真)  
森田富士夫 (日本流通新聞社)



『春』  
大越 恭治 (セメント新聞社)



『ふるさとの名優』  
戸倉 義信 (重化学工業通信社)



『神輿』  
勝又 時彦 (東京交通新聞社)

# 招待作品欄

過去に文部大臣奨励賞を受賞された方々の新作品



「北の台地 春の上を歩く」

浅野 烈 日本教育新聞社



「現地ルポ 大松川ダム」

佐藤 一彦 日本教育新聞社



「夕日」

遠見 静子 日本教育新聞社



「脱線車両と大奮闘」(組写真)

十文字 義之 (日本流通新聞社)



日本専門新聞協会主催の平成6年度写真コンクールの招待作品は、過去に文部大臣奨励賞を受賞された方々の新作品である。今回は、月11日(日)文部大臣奨励賞の授賞式が行われ、招待作品の発表が行われた。

招待作品は、浅野 烈、遠見 静子、佐藤 一彦、十文字 義之の4名からなる。浅野氏は、北の台地「春の上を歩く」で、大松川ダム建設現場の現地ルポとして、佐藤氏は、夕日、遠見氏は、大松川ダム建設現場の現地ルポとして、十文字氏は、脱線車両と大奮闘の組写真として、それぞれ、賞状と賞金を授けられた。

招待作品は、浅野 烈、遠見 静子、佐藤 一彦、十文字 義之の4名からなる。浅野氏は、北の台地「春の上を歩く」で、大松川ダム建設現場の現地ルポとして、佐藤氏は、夕日、遠見氏は、大松川ダム建設現場の現地ルポとして、十文字氏は、脱線車両と大奮闘の組写真として、それぞれ、賞状と賞金を授けられた。



審判委員長 芳賀日出男

審判委員長 芳賀日出男

## 文部大臣奨励賞は「光と影による階調美で見事」

文部大臣奨励賞と文部大臣奨励賞は、選定された作品の中から、最も優秀な作品を選定する。今年度は、浅野 烈、遠見 静子、佐藤 一彦、十文字 義之の4名からなる。浅野氏は、北の台地「春の上を歩く」で、大松川ダム建設現場の現地ルポとして、佐藤氏は、夕日、遠見氏は、大松川ダム建設現場の現地ルポとして、十文字氏は、脱線車両と大奮闘の組写真として、それぞれ、賞状と賞金を授けられた。



日本専門新聞協会理事長 高橋時春

高橋時春 日本専門新聞協会理事長

## 群を抜く招待作品の力作 全体的にレベルアップ

今年度の招待作品は、全体的にレベルアップしている。浅野 烈、遠見 静子、佐藤 一彦、十文字 義之の4名からなる。浅野氏は、北の台地「春の上を歩く」で、大松川ダム建設現場の現地ルポとして、佐藤氏は、夕日、遠見氏は、大松川ダム建設現場の現地ルポとして、十文字氏は、脱線車両と大奮闘の組写真として、それぞれ、賞状と賞金を授けられた。



審判委員長 芳賀日出男

審判委員長 芳賀日出男

## 晴れの入選者の声

入選者の声

浅野 烈

遠見 静子

佐藤 一彦

十文字 義之

入選者の声

浅野 烈

遠見 静子

佐藤 一彦

十文字 義之

入選者の声

浅野 烈

遠見 静子

佐藤 一彦

十文字 義之

「写真講座の開催」理事長が提案

理事長の高橋時春氏は、今年度の招待作品が、全体的にレベルアップしていることを踏まえ、写真講座を開催することを提案された。高橋氏は、写真講座を開催することで、写真愛好者のレベルアップを図りたいと考えている。

「脱線車両と大奮闘」(組写真) 十文字 義之 (日本流通新聞社)

この作品は、脱線車両と大奮闘の様子を捉えた組写真である。十文字氏は、この作品で、賞状と賞金を授けられた。

「北の台地 春の上を歩く」 浅野 烈 (日本教育新聞社)

この作品は、北の台地の春の上を歩く様子を描いた風景写真である。浅野氏は、この作品で、賞状と賞金を授けられた。

「現地ルポ 大松川ダム」 佐藤 一彦 (日本教育新聞社)

この作品は、大松川ダム建設現場の現地ルポである。佐藤氏は、この作品で、賞状と賞金を授けられた。

「夕日」 遠見 静子 (日本教育新聞社)

この作品は、夕日の美しい風景を描いた写真である。遠見氏は、この作品で、賞状と賞金を授けられた。